

JA全厚連情報

(毎月 1日 発行)

No.1122 2022年12月1日

目 次

- 財務分析の知識について研修
厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編第2クール）をWEB開催 1
- JA北海道厚生連の小野寺元会長などが受章
令和4年秋の叙勲・褒章 2
- 経営理論について体系的に研修
厚生連経営管理職層育成研修会（経営理論編）をWEB開催 3

・通信員だより

- 人間ドックを受診される方へ昼食「チョウザメ弁当」をご提供（美深厚生病院） 4
- 2022 救急オリエンテーションの開催（由利組合総合病院） 5
- JMECC（内科救急・ICLS 講習会）を開催しました（平鹿総合病院） 6
- 白河厚生総合病院附属高等看護学院継灯式開催（白河厚生総合病院附属高等看護学院） 7
- 第71回日本農村医学会学術総会に参加（相模原協同病院） 8
- 職員による草むしりを行いました（相模原協同病院） 9
- 地元JAと親子いもほり会を開催～園児の食育～（相模原協同病院） 10
- スマホで気軽にCARADA 健診サポート（保健福祉センター） 11
- 第8回中濃厚生病院緩和ケア研修会の開催（中濃厚生病院） 12
- 救急・リハビリ医療機器購入費用助成検診車等購入費用助成目録贈呈（JA岐阜厚生連） 13
- 中濃厚生病院と中部学院大学・同短期大学部との連携協力に関する協定締結について（中濃厚生病院） 14
- 内視鏡手術支援ロボットダヴィンチが大規模4病院で導入完了しました（JA愛知厚生連） 15
- 令和4年度大規模地震時医療活動訓練に参加しました
（安城更生・江南厚生・海南・豊田厚生・稲沢厚生・知多厚生病院） 16
- 乳がんイベント「ピンクリボンDAY」を開催しました（江南厚生病院） 17
- 除草ヤギ「コウ・セイ・レン」のお別れお散歩会を開催しました（豊田厚生病院） 18
- 病院説明会と就活支援講座を開催（JA三重厚生連） 19



©よい食プロジェクト

全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@ja-zenkouren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.ja-zenkouren.or.jp>

編集責任者 中村 純誠

財務分析の知識について研修

厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編第2クール）をWEB開催

本会は10月27日、28日の両日、厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編第2クール）をWEBで開催し、16厚生連から42名が参加した。

今回の基礎編第2クールでは、財務会計の知識をテーマに、①財務分析の前提と内部統制、②財務分析の基礎、③経営指標の基礎、④分析結果の活用方法—について研修を行った。

1日目は、財務分析の前提と内部統制について講義を行い、経営判断を適正に行うためには正しい決算書を作成する必要がある、そのためには内部統制が必要不可欠であることを学習した。また、安全性分析、収益性分析、成長性分析、生産性分析といった財務分析および経営指標の基礎について学習した。

2日目は、1日目の講義をふまえ、財務分析を用いて、課題や問題点を抽出する演習をグループに分かれて行い、分析結果の活用方法について学習した。

次回（基礎編第3クール）は、経営戦略の知識をテーマに、12月22日、23日の開催を予定している。



研修の様子

JA北海道厚生連の小野寺元会長などが受章

令和4年秋の叙勲・褒章

政府は11月3日、令和4年秋の叙勲・褒章受章者を発表した。

JA厚生連関係者で受章された方は以下のとおり。

賞 賜	主 要 経 歴	氏 名
旭日双光章	元 北海道厚生農業協同組合連合会 代表理事会長	オノデラ ヒトシ 小野寺 仁
瑞宝小綬章	現 中濃厚生病院 名誉院長	タナカ ツトム 田中 孜
瑞宝双光章	元 大曲厚生医療センター 臨床検査技師長	フジタ ヒデフミ 藤田 秀文
瑞宝単光章	元 阿南共栄病院 看護部看護副部長	センダ サチヨ 千田 幸代



経営理論について体系的に研修

厚生連経営管理職層育成研修会（経営理論編）をWEB開催

本会は厚生連経営管理職層育成研修会（経営理論編）の2日目（10月19日）および3日目（11月16日）をWEBで開催し、12厚生連から22名が参加した。

研修会は、(株)経営革新ラボ代表取締役で経営コンサルタントの田村健二氏を講師に迎え、全3日間の日程で経営理念・ビジョン・経営戦略・経営計画・戦略実行の関係等について体系的に学んだ。

2日目は、戦略構想の基本をテーマに、①戦略の概要、②戦略立案のポイント、③戦略立案の進め方について研修を行い、ワークやディスカッションを交えながら、特に外部環境と内部環境の視点を掛け合わせるSWOT分析の考え方を中心に学んだ。

3日目は、戦略・経営計画を実行するための組織づくりをテーマに、①組織を動かす仕組み、②組織活動の前提について研修を行い、ワークやディスカッションを交えながら学んだ。

参加者からは「SWOT分析の手法は大変勉強になった」、「グループワークにて情報共有・意見交換することができ、新たな気づき事項があり今後の業務に役立てていきたい」等の感想が寄せられた。



研修会の様子

□通信員だより□

人間ドックを受診される方へ 昼食「チョウザメ弁当」をご提供

(JA北海道厚生連・美深厚生病院)

美深厚生病院（川合重久病院長）では、人間ドックを受診される方への昼食として、美深町産の「チョウザメのムニエル」を主菜とした「チョウザメ弁当」を今年4月より提供しています。

北海道美深町産のチョウザメは、新鮮で栄養素に富み美味しい食材でありながら、美深町民でもほとんど食べる機会がありませんでした。昨年度に、美深町の協力を得て、病院給食で使用したところ好評だったことから、今回の人間ドックの昼食提供となりました。

また、チョウザメの魅力をより多くの皆さんに知ってもらうため、美深町と美深厚生病院がコラボして説明会を開催いたしました。

美深町の担当者からは、メスは世界3大珍味であるキャビアを収穫できますが、オスはその身の食材利用を進めているものの、なかなか浸透していないとのことで、生産状況とチョウザメ養殖の歴史についてご説明いただきました。

美深厚生病院の管理栄養士からは、チョウザメを3枚におろす際、骨が残らず調理がしやすいこと、歯ごたえは良いが高齢者も食べやすく、病院向きの食材であることを説明しました。

説明会に参加された皆さんに試食をしてもらったところ、「鶏肉のようで食べやすい」「フライにして食べてみたい！」などの嬉しいお言葉を頂きました。

美深厚生病院では、これからも人間ドックなどを通じて、地域の皆さんの健康づくりと美深町のチョウザメ産業の発展に貢献してまいります。



チョウザメ弁当の内容

(佐々木萌通信員)

2022 救急オリエンテーションの開催

(JA秋田厚生連・由利組合総合病院)

由利組合総合病院(軽部彰宏病院長)では由利本荘・にかほ地域の救急医療・災害医療の向上を目的に、研修会『救急オリエンテーション』を毎年開催しています。今年は、9月28・29日の2日間にわたって、COVID-19の感染状況を鑑みて、ハイブリッド形式で開催しました。

1日目は各部署からCOVID-19関連活動報告をしてもらいました。臨床検査技師から最新の知識についての講演やCOVID-19感染者の入院を受け入れてから2年半の中で、受入れ当初の苦労や様々な努力、取組みが紹介され、患者さんだけでなく、そのご家族のフォローにまで奮闘したスタッフの活躍は皆さんの心に深く響いたようでした。

2日目は災害医療をテーマにした講演会を開催しました。当院では県内に先駆けて、由利本荘市消防本部と合同で消防リエゾンの育成に取り組んでおり、これまでの訓練実績や成果について救急救命士に講演して頂き、その重要性を多くの方に知ってもらう大変良い機会となりました。

また、特別講演の秋田大学医学部救急・集中治療医学講座 奥山学准教授からは「災害対応を平時の業務にいかす」と題し、災害訓練の重要性・必要性を見つめ直し、どのような訓練が必要なのか、平時から心がけることなどをお話いただきました。

年内には災害訓練を予定しており、今回学んだことを生かしながら、有事の対応に備えていきたいと思えます。



救急オリエンテーションの様子

* 消防リエゾン・・・大規模災害発生等により通信手段が遮断された際、消防から情報収集、支援するために病院へ派遣される災害対策現地情報連絡員

(三浦由佳通信員)

JMECC（内科救急・ICLS 講習会）を開催しました

（JA秋田厚生連・平鹿総合病院）

10月4日、平鹿総合病院（齊藤研病院長）の講堂において、「JMECC（内科救急・ICLS 講習会）」を開催しました。JMECCとは内科医が共通に身に付けておく技術として、心肺停止のみならず、救急を要する急病患者に対応できるよう、日本救急医学会策定の「ICLS」を基礎に、日本内科学会独自の「内科救急」をプログラムに導入した講習会です。

JMECCは新専門医制度に基づく内科専門研修で内科専門医を取得するために必ず受講が必要となっています。また、講習会を開催するにはディレクターの存在が必要不可欠であり、この資格を持つ指導者が秋田県では2名（当院 深堀耕平医師、北秋田市民病院 佐藤誠医師）しかおりません。

当日は深堀耕平ディレクター（当院循環器内科）統括のもと、指導者計4名・受講者6名（医師3名・看護師3名）で一時救命処置、気管挿管と除細動、心停止の対応などについてシミュレーターを用いた実技を中心に丸一日かけて行われました。

受講者からは「普段救急の現場に接することがないので大変有意義だった」、「救急に苦手意識があったが、自信が持てるようになった」などの感想が寄せられました。次回開催は令和5年6月頃を予定しています。



JMECC(内科救急・ICLS 講習会)の様子

（三浦由佳通信員）

白河厚生総合病院附属高等看護学院継灯式開催

(JA福島厚生連・白河厚生総合病院附属高等看護学院)

JA福島厚生連白河厚生総合病院附属高等看護学院(前原和平学院長)は10月22日、同学院講堂で継灯式を行いました。

保護者や病院関係者らが見守るなか、第62回生(1年生)27名はナイチンゲール像から灯火を受け継ぎ、ナイチンゲール誓詞を唱えました。

前原学院長は「みなさんのなかにある炎が揺らぐことのないよう強い心を育み、いつでも変わらない温かい心で患者さんに接することができるよう、これからの二年間半の学院生活で努めてまいりましょう。」と挨拶を述べました。JA福島厚生連高久忠代表理事理事長、白河厚生総合病院大木進司院長、白河厚生総合病院鈴木文子看護部長から挨拶を述べました。臨地実習指導者代表、白河厚生総合病院看護師の佐久間健太さんから励ましの言葉を贈り、1年生代表金山博司さんがお礼の言葉を述べました。

継灯式を終え、1年生は11月から始まる本格的な実習を前に看護師になる決意を新たにしました。



継灯式の様子



継灯式の様子

(佐藤剛通信員)

第71回日本農村医学会学術総会に参加

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

10月13日～10月14日に、第71回日本農村医学会学術総会が山口で開催されました。相模原協同病院（井關治和病院長）からは各部門合計24題の発表を行いました。この学会は設立当時から多職種の医療関係者が参加している学会です。さまざまな視点からの活発な発表が行われ、大変有意義な研鑽の場となりました。臨床研修医セッションでは、当院 武内久旺医師の発表が優秀演題賞に選ばれました。



会場内①



会場内②



優秀演題賞に選ばれた武内久旺臨床研修医

(新嶋友梨恵通信員)

職員による草むしりを行いました

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

10月22日に相模原協同病院（井關治和病院長）では、サービス向上・ボランティア委員会（委員長 阪上雅史医師）を中心とした職員による院内の草むしりが行われました。作業後の敷地内は見違えるほど綺麗になりました。引き続きこうした取り組みで、患者さんや来院された方が気持ちよく過ごせる環境を作っていきたいです。



委員長から開会挨拶



正面入口前の芝生

(新嶋友梨恵通信員)

地元JAと親子いもほり会を開催 ～園児の食育～

(JA神奈川県厚生連・相模原協同病院)

11月2日、相模原協同病院(井關治和病院長)院内保育所にて親子いもほり会を開催しました。JA相模原市の「畑の先生」に教わりながら、園児たちが植えた苗が大きく成長した“さつまいも”を親子で収穫することで、育てる楽しさや食べる楽しみに繋がるきっかけとすることをねらいとしています。さつまいもにちなんだ手遊びや絵本を楽しんだ後、収穫から味見までを体験していただきました。お家にもさつまいもを持ち帰り、家族で味わい楽しんだことと思います。



0歳児クラス



1、2歳児クラス

(新嶋友梨恵通信員)

スマホで気軽に CARADA 健診サポート

(JA神奈川県厚生連・保健福祉センター)

JA健康管理センターあつぎ・さがみはら（野田吉和センター長）では、令和4年10月より健診結果をスマートフォンで確認出来る CARADA 健診サポートサービスを開始しました。当センターで受診した、過去6年分の健診結果を見ることが可能です。

アプリをダウンロードしてスマートフォンでいつでも手軽に確認してみてください。

※当サービスは令和4年10月以降の人間ドック受診者様が対象となります。



詳しくはこちらをご覧ください

(新嶋友梨恵通信員)

第8回中濃厚生病院緩和ケア研修会の開催

(JA岐阜厚生連・中濃厚生病院)

岐阜県関市の中濃厚生病院(赤松繁病院長)は、10月16日に、「第8回中濃厚生病院緩和ケア研修会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催が心配されましたが、感染者数が減少傾向となったため、昨年につき開催することができ、院内外の医師、計14名が受講しました。受講者は、がん疼痛などの身体症状と精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーションの知識、技能をロールプレイングによる演習などを通じて習得しました。

研修責任者である勝村副院長は「がん診療連携拠点病院として、今後も医師・看護師などの医療関係者のみならず、地域の患者さんやご家族に対する市民講座など包括的な取り組みを積極的に実践していきたい」と話していました。



研修会の様子

(寺師史華通信員)

救急・リハビリ医療機器購入費用助成 検診車等購入費用助成目録贈呈

(JA岐阜厚生連)

JA岐阜厚生連(谷口直樹・代表理事理事長)は、救急医療機器の整備並びに経鼻内視鏡検診車の内視鏡洗浄消毒機等設置整備にあたりJA共済連岐阜から購入費用の助成を受けることとなり、10月24日にJA会館において贈呈式が行われました。

JA共済連岐阜は、救急医療及びリハビリ医療の充実と交通事故被害者の救命や交通事故障がい者の社会復帰の促進、農村地域を中心とする組合員・利用者の健康管理の支援を行うことを目的に、JA関連医療機関における医療機器等の購入に対する助成を行なっています。

今回の助成を受け、飛騨医療センター久美愛厚生病院(山本昌幸病院長)に整形外科用手術器械、岐阜・西濃医療センター揖斐厚生病院(西脇伸二病院長)にX線テレビ装置を導入しました。また、経鼻内視鏡検診車(岐阜・西濃医療センター岐北厚生病院(益田和明病院長)配備)に内視鏡洗浄消毒機等を整備しました。

当機器の導入により農村地域における救急医療の充実に貢献し、組合員・利用者の疾病の早期発見・早期治療に寄与するものとして期待されています。



JA共済連岐阜運営委員会 小林会長(右)からJA岐阜厚生連経営管理委員会 堀尾会長(左)への目録贈呈

(寺師史華通信員)

中濃厚生病院と中部学院大学・同短期大学部との 連携協力に関する協定締結について

(JA岐阜厚生連・中濃厚生病院)

岐阜県関市の中濃厚生病院(赤松繁病院長)は、令和4年10月25日に中部学院大学及び同短期大学部と地域医療への貢献を目的に連携協定を締結しました。

三者はこれまでも看護師、理学療法士などの実習、各種イベントなどで協力関係を築いてきました。また、大学の卒業生が中濃厚生病院に就職し、現在も看護師、理学療法士として活躍しています。

今回の協定により、人材育成、研究支援、病院利用者に対する支援などを柱として、三者間でより一層の連携を図っていくこととしています。なお、中濃厚生病院としては教育機関と初めて、両大学も医療機関と初めての協定締結です。

赤松病院長は「同じ地元である関市に立地する三者が連携を強化することで、中濃圏域の医療を支える人材を育成・確保し、地域医療の充実に繋げたい」と話していました。



連携協定締結式の様子

中部学院大学短期大学部 片桐学長(左)、赤松病院長(中央)、中部学院大学 江馬学長(右)

(寺師史華通信員)

内視鏡手術支援ロボットダヴィンチが大規模4病院で導入完了しました

(JA愛知厚生連)

令和4年10月、豊田厚生病院（服部直樹病院長）で内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、大規模4病院すべてに「ダヴィンチ」の導入が完了しました。豊田厚生病院は11月4日に外科の第一症例を行いました。ダヴィンチ手術については本会広報誌の特集で解説しています。ぜひご覧ください。



低侵襲手術への挑戦
内視鏡手術支援ロボット 特集

da Vinci

内視鏡手術支援ロボットで患者さんにより負担の少ない手術を

ロボット技術の進歩に伴い、医療現場でもロボットを使用する場面が多くなりました。JA愛知厚生連では、2013年に海南病院、2021年に安城更生病院、2022年に江南厚生病院・豊田厚生病院（11/4第1症例実施）で内視鏡手術支援ロボットダヴィンチを導入しています。高度な医療を担う大規模4病院すべてにダヴィンチの導入が完了しました。

1 サージョンコンソール (右・左操作部) **2** ペイシェントカート (ロボットアーム部) **3** ビジョンカート (助手・看護士用モニター部)

内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」は、3つの機械で成り立っています。従来技術を用いて内視鏡で繊細な手術が可能とするために開発されました。

ロボットを介することで、人の手だけで行うより、より繊やかな操作が可能となり、安全で正確に手術を進めることが出来ます。

Column 従来の腹腔鏡手術は、小さな切開からビデオカメラや手術器具を挿入して、モニター画面を見ながら手術を行うため通常の開腹手術より低侵襲な手術が可能ですが、その反面、器具の操作には制限があり、直交も平面でも走行が分からないことから、手術には高度な技術が必要なため複雑な手術は困難でした。この問題を克服したのが、ロボット支援腹腔鏡手術（ダヴィンチ手術）です。

導入時のシミュレーションの様子

ロボットの操作は、製造元の認定資格 (certificate) 制度を完備した医師しか実施できません。この資格制度は、専門の研修認定施設でのトレーニングがプログラムに組み込まれています。ダヴィンチ手術では、医師はロボットの操作に専念し、看護師・臨床工学技士などの多職種で患者さんやロボットの状態を確認し、チームで手術を進めます。全世界にて使用されているIntuitive Surgical社のダヴィンチは、システムエラーの報告が0.2~0.4%と極めて低くなっていますが、手術スタッフは万が一に備えた訓練を行っています。

対象疾患について

現在、前立腺がん・腎がん・食道がん・結腸がん・直腸がんなど保険適用となる疾患が増えています。各疾患に対して各病院で対応しているため、対象疾患は病院ごとに異なります。また、がん病気の進行具合や合併症の状態によっては別の治療法が良い場合もあるため、患者さんそれぞれの病態にあった手術・治療法を提供しています。

2013年、県内3番目・海部地区に初導入した海南病院

当院では2013年5月にダヴィンチを導入して以来、650件を超えるロボット支援手術を施行してきました。対象となる保険適用疾患は年々広がり、患者さんにも嬉しい手術として、さらに発展していくことが期待されていますが、ダヴィンチがなければ簡単に手術ができるわけではありません。安全な手術を行うために最も重要な手術チームの協力向上に、今後力を注いでいきたいと考えています。

海南病院 泌尿器科 代表部長 窪田 裕樹

ダヴィンチ手術の特徴

01 小さい傷口
ダヴィンチでは、1~2cmの複数の穴から内視鏡カメラとロボットアームを導入して手術を行います。そのため、従来の開腹・開胸手術に比べて、傷が小さく、手術中の出血量を抑えられるため、手術後の回復が早く、後の負担を軽減することができます。

02 精密な動き
従来の腹腔鏡手術の道具は、まっすぐの動きを使っていますがダヴィンチの4本のロボットアームは人の手首よりも可動域が広く、繊細な医師の手のような操作が可能です。手ぶれ補正機能がついているため、より精密な動きを実現します。

03 3D (立体) HD (高精細度) による高倍率視野
従来の腹腔鏡手術では、医師は2次元の高倍率で手術を行っていましたが、ダヴィンチでは、内視鏡カメラで映し出される3次元画像を高倍率に拡大することで、正確な距離感を感じながら手術を行うことができます。

PICKUP 安城更生病院 / オペ看護師の一日密着動画を公開中。ダヴィンチ手術にも入っています！

Case20 Times(キリリーアーム)のさらなるTubeキリリーで、ダヴィンチ手術を含む様々な手術に入る手術室の報道が影響取材を受けました。ぜひご覧ください。
動画タイトル【オペ看護師の1日】医師と患者をアゲートする医療現場に完全密着！！
<https://youtu.be/7Lk5TzCDtM>

01 | こうせい | 2022年11月号

2022年11月号 こうせい | 02

職員向け広報誌「こうせい」11月号・外部向け広報誌「With 厚生連情報」12月号の特集で解説中

JA愛知厚生連8病院のうち、安城更生病院（771床）、江南厚生病院（684床）、海南病院（540床）、豊田厚生病院（606床）は、地域医療の中心的役割を担い、命を救う高度な医療を提供する大規模病院です。

2013年に海南病院、2021年に安城更生病院、2022年に江南厚生病院で内視鏡手術支援ロボットダヴィンチを導入しています。

(井桁千聡通信員)

令和4年度大規模地震時医療活動訓練に参加しました

(JA愛知厚生連)

(安城更生・江南厚生・海南・豊田厚生・稲沢厚生・知多厚生病院)

10月1日、南海トラフ地震を想定し「令和4年度大規模地震時医療活動訓練」(内閣府主催)が国・県・各関係機関の連携のもと実施されました。

JA愛知厚生連(宇野修二・代表理事理事長)が運営している災害拠点病院6病院も訓練に参加し発災直後から24時間までを想定した災害対策本部訓練やDMATチームの受け入れ訓練等を実施しました。各病院は、派遣されたDMATと協働して患者の受け入れや搬送訓練等を実施し、体制の機能や実効性の検証を行いました。



各病院の訓練の様子。他県DMATと協働して行いました
①、②海南病院 ③、④知多厚生病院 ⑤稲沢厚生病院

(井桁千聡通信員)

乳がんイベント「ピンクリボン DAY」を 開催しました

(JA愛知厚生連・江南厚生病院)

江南厚生病院（河野彰夫病院長）では、10月13日、ピンクリボン月間に合わせたイベント「ピンクリボン DAY」を開催しました。当院は、乳がん啓発と乳がん罹患者支援の一環として2011年よりイベントを実施しています。

今年度は乳腺内分泌外科医や男性乳がん体験者による講演会のほか、キャンサーケアヨガ・各種体験・相談会など1日を通して様々なイベントを行いました。



年々盛り上がりを見せている乳がんイベント。職員が心を込めて準備した手作りの可愛い飾りつけも好評でした。
幅広い年代や女性だけでなく男性の方にもご参加いただき大盛況に終えることができました！

(井桁千聡通信員)

除草ヤギ「コウ・セイ・レン」のお別れお散歩会を開催しました

(JA愛知厚生連・豊田厚生病院)

豊田厚生病院（服部直樹病院長）では、6月8日～10月11日まで敷地内の一部で環境負担の少ない「ヤギ」による除草を行いました。

ヤギ達はInstagram投票で命名され、来訪者や保育園児だけでなく職員・看護学生にも癒しの存在として大人気となりました。

10月6日には任期満了に伴いお別れお散歩会を実施し多くの地域の方に参加いただきました。

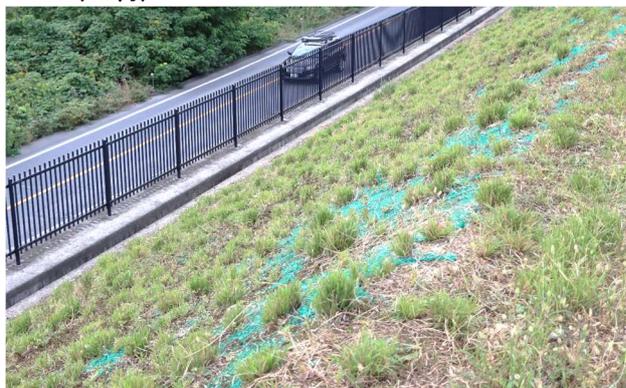


お別れお散歩会の様子。好物の葉っぱを持参された参加者の方もおり、皆さんが別れを惜しんでいました。
当日の様子は、中日新聞にも取材いただき、10月7日の「豊田版」に掲載されました

Before(6月)



After(10月)



除草エリアはとっても綺麗になりました！

(井桁千聡通信員)

病院説明会と就活支援講座を開催

(JA三重厚生連)

JA三重厚生連（庄山隆裕・代表理事理事長）では11月20日、津市のJA三重ビルで厚生連病院説明会と就活支援講座を開催し、令和6年3月卒業予定の看護大学および看護専門学校の学生11名が参加しました。

各病院の先輩ナースも参加し、病院ごとに分かれて説明会を行いました。病院の特徴や職場の雰囲気などを説明し、学生からの質問に答えていました。

その後、外部講師による就活支援講座、午後からは令和5年3月卒業予定者も加わって、国家試験対策講座を開催しました。

参加者からは、「どんな状況でも的確な判断ができる看護師になりたい」、「臨床の現場に出れば余裕がなくなると思うが、その人を思いやることを忘れないようにしたい」といった看護への意気込みが聞かれました。



病院説明会の様子



就活支援講座の様子



国試対策講座の様子

三重県厚生連主催

事前申込要
80名様
まで

病院説明会と就活支援講座

午後からは・・・

国家試験対策講座

開催日

講師：有限会社サトラサービス
代表取締役
内田 都良 先生



2022年11月20日(日)

※感染の状況により、開催形式を変更する可能性があります。

9:00～ 受付

9:15～12:30 三重県厚生連の説明
先輩ナースの語り
病院説明会

参加病院

松阪中央総合病院 ・ 鈴鹿中央総合病院
三重北医療センター菟野厚生病院
三重北医療センターいなへ総合病院
鈴鹿厚生病院

参加対象

- 2024年3月卒業見込みで
三重県厚生連への就職を考えている人
1日開催ですので、昼食は準備します。
- 2023年3月卒業見込みの者
(午後のみの参加も可)

2024年卒生向け

11:00～12:30 就活支援講座

13:30～16:30 国家試験対策講座

テーマ 必修問題攻略

開催場所

JA三重ビル 5F大会議室
(三重県津市栄町1丁目960番地)



※近鉄・JR津駅より徒歩7分
※建物北側と南側に駐車場あり(拡大図参照部分)



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に講じ開催いたします。当日は必ず**マスク着用**をお願いします。

お申込みは開催日の**3日前までに**ホームページより、
必ずご予約をお願いします。

お申し込み・お問い合わせ先

三重県厚生農業協同組合連合会
管理部・看護担当

TEL: 059-229-9203 Mail: hnb_kango@miekosei.or.jp

ホームページから申込みができます⇒

【開催当日の緊急連絡先】
080-8264-3600



病院説明会、就活講座チラシ
(教来石信彦通信員)